

2011年11月11日  
株式会社パスコ

(報道資料)

## 超高解像度光学衛星「Pleiades(プレアデス)」の販売権を取得 - 地球観測衛星を活用した事業を推進 -

株式会社パスコ(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:杉本陽一、以下:パスコ)は、世界最高レベルの超高解像度光学衛星「Pleiades」との直接送受信とデータ販売の権利を新たに取得しました。

パスコは現在、沖縄県糸満市、北海道千歳市に衛星受信局(アンテナ)をもち、人工衛星を用いた測量や、人工衛星画像のデータ解析・判読処理を施した防災、農業、森林、環境などのリモートセンシングサービスを展開しています。

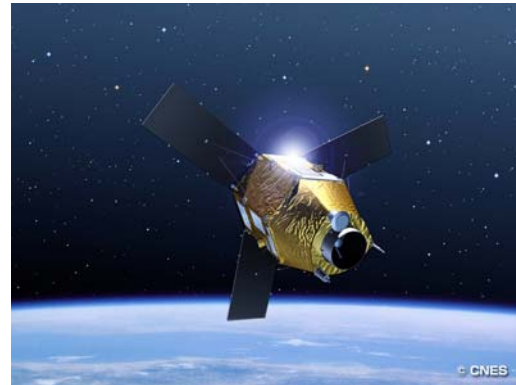
東日本大震災においても、合成開口レーダー衛星「TerraSAR-X(テラサーエックス)」のほか、光学衛星の撮影画像を活用して津波の浸水区域判読(推定)や湛水区域のモニタリングなどを独自に実施し、いち早く、国および関係機関に対して解析結果等の情報提供を行いました。

今回、新たに **Astrium GEO Information Services**(フランス)が運用する地上解像度 **50cm** カラーの超高解像度光学衛星「Pleiades」の、日本国内におけるダイレクトタスキング(衛星に対して直接、撮影指示を出し、撮影したデータを直接受信すること)とデータ販売の権利を取得しました。

パスコが既に権利を取得している合成開口レーダー衛星「TerraSAR-X」と合わせ、地上解像度 **50cm** カラーの超高解像度光学衛星とのダイレクトタスキングという利点をいかし、今後も、防災や環境分野を中心として、人工衛星データの迅速な取得と提供に努めるとともに、事業基盤の強化を図り、人工衛星を活用した地理空間情報事業の拡大を目指します。

【超高解像度光学衛星「Pleiades (プレアデス)」】

「Pleiades」は、Astrium GEO Information Services 傘下の Spot Image 社が運用する光学系人工衛星で地上解像度 50cm カラーの超高解像度光学衛星群。1回の撮像範囲は 20km×20km と他の衛星の 2～3 倍の広さが撮像でき、2機の運用により撮像タイミング、撮像回数とも通常の衛星の 2 倍、撮像面積は 4～6 倍のパフォーマンスを有している。「Pleiades」は 2011 年 12 月に打ち上げを予定しており、商用サービスは 2012 年度から開始する予定。



【Astrium GEO Information Services】

Astrium GEO Information Services は、エアバス事業を中核とした航空宇宙事業を展開するヨーロッパの大手航空宇宙企業 EADS グループにおいて、宇宙事業を主管する EADS Astrium 社の「衛星運用・リモートセンシングなどの利用サービス」を提供する部門。

■ 本件に関するお問合せ先

株式会社パスコ 基幹業務部 広報担当

TEL:03-6412-2800 /「お問合せフォーム」 <http://www.pasco.co.jp/contact/>